

2024年度基幹研修

打ち合わせ会議①

2024.04.24

〈参加者〉 富澤 横澤 中嶋 神尾 小林 狩野 原島

〈今回会議の目的〉

基幹研修Ⅰの委託更新の書類が日本協会から来ていたが、基幹研修Ⅱを受けるかもしれない、という状況だったため様子を見ていた。日本協会本部に確認したところ基幹研修Ⅱを群馬で開催する方向となっている、との話があった。総会議案書は日本協会にも送るため、そこに議案として基幹研修Ⅱが記載されていた方が良いため、急遽会議を開催する運びとなった。

〈基幹研修Ⅱ委託要綱/概略〉

- ・委託費16万円、研修費1名5,000円を徴収。基幹研修Ⅰを終了していること。
- ・定員は80名。変更(増減)する場合には日本協会に確認。
- ・謝金等は基本、県協会で決めて構わないとされている。参考までに日本協会の謝金規定がある。
- ・講師は認定精神保健福祉士、またはそれに準ずる者。演習講師は研修認定精神保健福祉士、またはそれに準ずる者。グループリーダーも研修認定精神保健福祉士、またはそれに準ずる者、と規定されている。誰でも良いわけではない。
- ・シラバス別参。事業計画としては講義1, 講義2, 演習はこれまでどおり基幹研修Ⅰの講師にお願いし、講義3が新しいコマになるため外部講師を依頼しても良いかと思う。時間配分は基幹研修Ⅰと同様。
- ・予算案別参。

〈検討事項・確認事項・決定事項〉

①基幹研修Ⅰ

- ・基幹研修Ⅱを開催するため、今年度は基幹研修Ⅰの契約は行わず研修は開催しない。

②開催方法

- ・講義はe-ラーニング、演習は集合という方法もある。全て参集型で開催すると参加者数に影響がある可能性もある。
- ・内容はシラバスに沿って行う。グループワークも同様。80名の参加者があった場合、1グループ7~8名として10名のグループリーダーが必要となる。グループリーダーは基幹研修Ⅲを終了していることが必要になるため、県内で確保できるか、できない場合には近県に要請する必要がでてくる。
- ・田村会長も講師を引き受けてくださると内諾をいただいている。

◎参集型で開催する

③会場

- ・関東甲信越ブロック所属の構成員が受講対象者となるため、会場は駅に近く駐車場の確保ができる場所としてGメッセで考えている。本日確認したところ11月16日(土)、17日(日)の両日とも全日予約可能。
- ・参加人数的にはGメッセ3階中会議室半分で大丈夫なのだが、グループワークを行うことを考えると全面利用の方が望ましいのでは。3階であれば小会議室も隣接しているため、控室として利用できる。会議室内イメージ的にはプレ全国大会。
- ・来場者の事を考えるとGメッセが適切なのでは。予約のタイミングは総会を待っていると間に合わない可能性がある。予約金の納入等も発生する。

◎会場…Gメッセ、開催日は基幹研修Ⅰと同日程。

→予約は事務局でタイミングを図る。

④講師

- 基幹研修Ⅰを踏襲し、田村会長にも依頼する。グループリーダーは随時検討。

⑤その他

- 打合せ会議は基幹研修Ⅰの時は2回程度。初回が7月だった。総会で宣伝できるよう総会前に打ち合わせ会議を開催する。
→調整さんで調整。
- 次回会議での検討内容としてはグループリーダーの確保、申込受付時期等の確認も必要。発送のタイミングは当会。日本協会からはラベルと封筒の提供のみのため、日本協会とのスケジュールの共有も必要。懇親会開催の有無について。
- 他県との連携を図るためにも、他県にファシリテーターを依頼しても良いのでは。
- 田村会長の予定確認
→林さんに確認を依頼。
- 打合せで一度会場に出向き現場の確認ができると思う。

〈文責 原島〉